

南信州広域連合第6回広域連合会議 結果報告

日時：平成23年9月14日(木)15:01～

場所：飯田合同庁舎5階 502・503号会議室

【出席者】14市町村長、下伊那地方事務所・久保田所長、飯田保健福祉事務所・佐々木所長、飯田建設事務所・三井所長、渡邊副管理者、飯田市・佐藤副市長・木下参事、飯田市立病院・菅沼事務局長、町村会・山田事務局長、飯田広域消防・澤柳消防長・山田消防次長、飯田環境センター・岩崎事務長・米山事務長補佐、事務局・高田事務局長・宇井事務局次長・坂井厚生担当主幹・近藤広域振興係長・園原庶務係長・林主査

1 開 会 15:01

2 報告事項

(1) 飯田市立病院の救急医療体制について（資料3）

…資料による説明（菅沼事務局長）

県のドクターヘリが信州大学付属病院へ配備が決まったが、この配備検討委員会は南信地区への医師配置について積極的に対応することを条件として付記した。これを受け、信州大学付属病院高度救命救急センターは、飯田市立病院の救命救急センター長を1ヶ月間受け入れるとともに、救急科医師1名を平成23年10月1日から当院へ派遣することとなった。

また、県の医療審議会で、地域医療再生事業においてドクターカーを当院へ配備する計画が示されたことや、救急医の着任を踏まえて、ドクターカー導入の検討を開始したことが報告された。

(2) 三遠南信サミット2011 in 遠州について（資料2）

…資料による説明（高田事務局長）

SENA（三遠南信地域連携ビジョン推進会議）事務局及び飯田市企画課を通じ、開催要綱（案）が示されたことが報告された。

【日時】 平成23年10月24日（月）

【会場】 アクトシティ浜松（静岡県浜松市板屋町111-1）

オオクラアクトシティホテル浜松（静岡県浜松市板屋町111-2）

【概要】 各種総会・役員会、基調講演、事業報告、分科会等予定

(3) 福島県南相馬市避難者義援金の配分について（資料4）

…資料による説明（宇井事務局次長）

神稲建設株式会社から寄せられた義援金（81,138円）について、被災者受入れ市町村を通じ被災者に渡してほしいという提供者の支援趣旨のとおり、8月26日現在の各市町村内受入れ人数を確認し、受入れ人数に応じた配分金額を正副広域連合会に於いて決定したことが報告された。

(4) 三六災害50年事業DVD制作について（資料5）

…資料による説明（近藤広域振興係長）

三六災害50年事業の一環として、防災教材DVDを制作する。内容は、6月19日に上演

された「演劇的記録 三六災害五十年」の映像と、防災啓発広報の二部構成。広報部分は、土砂災害の恐ろしさとメカニズムの説明や、気象警報・避難指示の説明と対応並びに非常持出袋等の備えの励行などを収録する。9月末頃の完成を予定しており、完成後は圏域内市町村及び天竜川上流河川事務所並びに上伊那広域連合へ配布し、小中学校・図書館・公民館等での活用をお願いしたい。現在、完成に向けて準備を進めていることが報告された。

(5) その他

ア 共催依頼について（資料6・7）

「国土交通省道路局次長佐々木基氏講演会」について

「重症心身障がい児者フォーラム」について

イ 後援名義使用について（資料8）

「平成23年度南信地区認知症高齢者対策・高齢者虐待防止フォーラム」について

ア～イの計3件について、共催及び名義使用が了承された。

ウ 下伊那地方事務所から

- ・飯田合同庁舎食堂メニューについて
- ・南信州ハイウェイキャンペーンについて
- ・南信州のイベント一覧について

3 協議事項

(1) リニア中央新幹線について（資料1－1ほか）

ア 広域連合長あいさつ

8月5日にJR東海から環境配慮書が公表され、8月18日に圏域での説明会が開催された。環境配慮書に圏域の要望事項が十分に反映されていないため、協議の上、課題を整理し意見書に纏めて、県の調整をいただき、9月7日と13日の両日JR東海との協議を持った。

9月7日の協議の後、宇野本部長から「当地ほど熱心にリニアに対応する地域の取り組みを行っている地域はない」との発言をいただいた。

9月13日協議の際に、宇野本部長から地域の想いをJRとして受け止めた、建設促進については、地域と一緒にやってよいものを造っていききたいとして、次の提案があった。

- ① 水源域については、最終的に水源域を外す。
- ② 飯田線の存続はしっかりと行っていく。
- ③ リニア飯田駅については飯田線に近接させる。
- ④ 既存市街地との連携については、計画段階から考えていく。出来るだけ近づける。
- ⑤ 環境に配慮し、地域の意見を十分聞き話し合っていく
- ⑥ 駅の負担については各駅共通のことであるが、これからしっかり考えていく。

この提案を受け、同盟会としての対応をその場をお借りして協議検討した、現駅併設の地域の想いはあるが、JR東海の真摯な姿勢と踏み込んだ内容の提案に対し、こちらも真摯に受け止めることが適当として纏め、JR東海へは現駅併設の想いはあるが、JR東海の提案を受け止め、地域の中で考えをまとめていくことを伝えた。

ただいま報告したことは、マスコミ取材や先ほど開催した飯田市議会リニア対策特別委員会及び全員協議会でも説明した。「現駅併設を断念するか」という質問があり、地域のこれまでの議論の積み重ねの結果、現駅併設がベストであると今でも思っているが、協議を重ねる中現駅併設は困難というのが偽らざる気持ち。今までの議論を無駄にしないよう、現駅の機能やメリットをどう活かしていくか、これからの地域づくりのなかで考えていく。これからの方向性については、国・県・地元・JR東海が一緒になって見い出していきたい。リニアをいかした地域づくりに今後とも協力をお願いしたい。

イ リニア中央新幹線に関する同盟会・JR東海の協議の整理について

…資料による説明（飯田市リニア推進対策室 木下参事）

9月7日と13日のJR東海との意見交換について、確認事項として次のとおりまとめた。

なお、報道等に地名が出てきているが、これまでに具体的な地名を出しての協議はない。

あくまでも「5km円」「3km幅」という中での議論である。

(ア) 水源域の回避については、最終的に水源域を外す。

(イ) リニア飯田駅については、飯田線に近接させる。

(ウ) 既存市街地との連携については、計画段階から考えていく。できるだけ近づける。

(エ) 環境に配慮し、地域の意見を十分聞き話し合っていく。

(オ) 駅の負担については各駅共通のことであるが、これからしっかり考えていく。

ウ 協議結果

JR東海の提案を受け入れて次の段階に進めていくことが確認された。

エ 主な意見

(ア) こうなったことは残念ではあるが、これ以上現駅併設に固執することは如何なものかと考える。この地域の熱い想いを県が受け止め、県の責任として進めるようお願いしたい。

(イ) JRとの確認事項が、ここまで詰められたことに敬意を表したい。大プロジェクトのスタート、この転換時期にあたって、今後のJR東海や県との協議に連合長としての努力をお願いしたい。

(ウ) 今日時点の報告の内容は理解した。こんごどのような形で進めていくのか。

→ 環境アセスに2～3年かかるといわれる、具体的な話が進む中、課題も浮上すると考える、皆さんで相談しながら進めていく。

(エ) 南信州が一緒になってやっていく仕組みが出来ている。こうした形が崩れないよう連携を持って進めていってほしい。

(オ) 現駅併設については残念な結果であるが、正副広域連合長や同盟会の努力の成果として纏められた、そのご労苦を労いたい。

4 当面の日程について

- | | |
|----------------------|-----------|
| (1) 正副広域連合長会（泰阜村） | 10月11日（火） |
| (2) 広域連合会議（泰阜村） | 10月11日（火） |
| (3) 三遠南信サミット2011in遠州 | 10月24日（月） |

5 閉会 15:46